

～心豊かなひととき～

## 12期 生演奏を楽しむ

日時 2024年6月7日（金） 10時～12時

学習テーマ 楽器の魅力① ピアノ

講師 大阪音楽大学教授 藤井快哉（ふじいよしき）氏



「ドビュッシーとその周辺」と題して近代のフランス音楽の魅力ピアノの演奏とお話で解説された。

まずドビュッシー(1862～1918)の生涯と功績についての話があった。

彼は貧しい環境に生まれたが、才能は抜き出ていた。長じて文学の造詣も深くマラルメなど詩人、文学者との交流を通じて作品に深く影響した。また音楽的語法はショパンの手法が詰め込まれている。

世間に知られるのは遅く 40 歳であったが、オペラ「ペレアスとメリザンド」で一躍有名になった。その後彼独自の世界を切り開いていった。

#### 演奏曲目

- 1 .2つのアラベスク
2. サティ 3つのジムノペティより
3. ベルガマスク組曲より
4. ラモー ガヴォットと5つのドゥーブル
5. 映像第1集より
6. 前奏曲集より

感性の世界で、おしゃれな感じであった。構成がしっかりとしたドイツ音楽との違いを実感できた。

映像第1集の「水の反映」は彼の典型的な作品とのことであったが、ピアノで水の戯れの様子をここまで印象的に描けるのかと感じた。演奏は随分むずかしいようだった。

先生がドビュッシーを演奏されるようになるまでの経緯や、今日の講座のために随分練習をなさったと聞くにつけ、そういう曲なのかと納得した。

私は今までドビュッシーを自分から積極的に聴くことはしなかったが、今回の講座で彼の魅力が良く理解できた。ユニークな素晴らしい作曲家でした。

【 広報担当 MI 】